15　外科的救急処置のポイント

①　　頭部のけがの基本フローチャート

頭部打撲

緊急

問　診	検　査
①いつ ②どこで ③どんなに ④どうして ⑤受傷の様子 ⑥受傷後の様子 ⑦その他の兆候	⑧視診（出血・顔色・顔つき・瞳孔・表情・姿勢・皮膚の色・ショック） ⑨触診（血腫の有無・頭部の変形・圧痛の有無） ⑩検査（検温・検脈・瞳孔・複視）

判断	緊　急	重　度	中　等　度	軽　度
	・大出血 ・意識消失 ・けいれん（あり） ・呼吸の異常（あり） ・瞳孔の異常（あり） ・ショック症状 ・耳や鼻からの出血 ・髄液の漏出（あり） ・頭蓋骨の変形（あり）	・意識障害あり ・頭痛（激痛） ・繰り返す嘔吐	・長時間の頭痛・吐き気 ・短時間の意識障害 ・意識状態に変化（あり） ・打撲部位が側頭部 ・皮下血腫（あり）	・軽度皮下血腫 ・全身状態（良好） ・異常微候（なし）
	即医師受診	医師受診	経過観察後 医師受診	学校の 処置のみ

学校での処置				
	・止血 ・頭高仰臥を保つ ・意識不明時は昏睡位 ・必要に応じて人工呼吸 ・心臓マッサージ ・安静	・安静 ・嘔吐のある時は側臥位 ・吐物の再誤燕を防ぐ ・頭全体は冷却	・安静にして休養（少なくとも１時間） ・打撲部位の冷却 ・十分な経過観察（頭痛・吐き気・めまい・意識状態）	・打撲部位の冷却. ・教室復帰後、継続的な観察（頭痛・吐き気・めまい・意識状態） ・学習を一部制限

事後処置	
	連絡：担任・保護者・校長・学校医に状況説明 記録：場所・時間・状況・原因・処置など記録 日本スポーツ振興センターへの手続き 予防：環境整備・危険予防